

**秋の三大イベント報告**

**第13回  
オーディオコンサート開催**

10月2日(日)一ヶ月も続いた秋雨前線が去り、朝から快晴、天気男がいるらしい。今日はオーディオコンサートの日。朝8時、つくし野例会場へ選りすぐりの往年のマッチョ男7名が集結。一本85kgもあるタンイモニター215スピーカー、CDプレーヤー、プロジエクター、スクリーン等の搬出にあたる。  
レンタカーを使用、傷害保険を掛けて準備万端。鳥居会員指揮の下順調にアビスタに搬入。山のような機材と会員35名が予定通り11時半に揃った。お客様の参加状況が気になってくる。幸いの好天で期待は大きい。



果せるかな、続々のお客様が60名、会員35名を加えると100名近く。やれやれ。大勢お待ちかねの様子にて、13時半の開演予定を10分早め、林会員の司会でスタート。



今回のテーマ「あなたはアナログ派?」「デジタル派?」  
会長挨拶も手短かにして石井会員のアナログから始める。今回のテーマは「音楽が鳴る事をめざした手作り」と改造の装置」、後半は石田会員。「往年の名器LORD HS-500を最新のデジタルアンプで聴く」  
リクエストタイムでは多くの方からCDの持ち込みがあり、SPをタンノイか日立を使用するかの希望に沿って使い分ける楽しさもあつた。  
2年ぶりのオーディオコンサートは無事成功裡に終わった。

思えば創立早々のオーディオコンサートのお客様はせいぜい20名足らず、今昔の感あり。

6時半には全員が「どん亭」に揃って打ち上げ。すき焼きを囲んで美味しいビールとお酒。そして何より楽しい会話を十二分に堪能した。

**川村学園女子大学**

**学園祭「鶴雅祭」  
オーディオコンサート開催**

いきさつ...

数年来佐藤前会長が同学園での開催を強く念願。その意を受けて、学校との伝手を模索していた。

偶々白澤会員があびこ型「地産地消」推進協議会に携わっており、同学園との接点があると知る。同氏が事務局・教授に折衝していたところ、学園祭参加での開催が認められたものである。

デジタル世代の若い方にアナログの温かい音色を楽しんで貰いたい「懐かしい昭和の音を管球アンプで再生」がテーマとなる。  
学園祭は22日(土)23日(日)の2日間。  
当会は23日に展示10時~16時。公演は14時~15時半。  
林会員の見事なディスクジョッキーで、目指す温かい懐かしい曲が次々リクエストされる。

中間に小笠原蓄音器を演奏、驚嘆の声。ペペラのソノシートからフランク永井の低音、昔の歌手は上手い。拍手もあり、尽きぬ要望でぎりぎり迄時間延長となった。  
リスナーの対象は違えこそすれ、手ごたえ十分のコンサートでした。



**旧井上家住宅**

**SPレコード鑑賞会**



江戸時代から手賀沼干拓事業に多大なる貢献をした井上家の旧住宅は我孫子市の指定文化財として、保存整備工事が着々と進んでいる。  
今回我孫子市教育委員会との共催事業として旧井上邸にてSPコンサートを実施の運びとなった。

市教委との共催事業は旧村川別荘でのSPコンサート、杉村楚人冠記念館でのSPコンサートと数を重ねてきている。  
使用する蓄音器は小笠原会員が古い機材を集めて再生したものに手作りの巨大ホーン・ボール紙に入念なニス仕上げ・改良を重ね各所で高い評価を得ている入魂の作品。  
土間に置かれた30脚の椅子はほぼ満席。歴史を重ねた太い柱、重厚な佇まいの座敷に鉛色のラッパホーンが処を得た如く鎮座する。

(記事執筆 脇田 隆夫)

**事務局より**

各記事の詳細は、HPでご覧いただけます。